

発行所

社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号

プールバール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

2015年新年号

ほくし

迎春



年頭所感

大阪北区歯科医師会 会長 高麗 誠紀



明けましておめでとうござ
います。

会員の皆様方にはご家族
お揃いでお健やかに新年をお
迎えのこととお慶び申し上げ
ます。

昨年は「アベノミクス」の効
果なのか、株価上昇を含め、
日本経済がデフレからの脱却
の兆しを見せました。政局で
は暮れに突然の衆議院解散、
そして戦後最低の投票率の中、
自由民主党は前回の総選挙
に続き圧勝しました。民主党
は伸び悩み、維新の党は勢い
に翳りを見せた結果となり
ました。

また、今年四月には統地
方選挙が行われますが、大阪
では府議会、大阪市議会の勢

力図はどうなるのか目が離せ
ないところです。

さて、当会は昨年四月に一
般社団法人大阪北区歯科
医師会としてスタートしま
した。一億円を超えていた公
益目的財産額を約三分の一
にまで減少させたことにより、
公益目的支出計画の実施期
間を七年間に短縮すること
が出来ました。会員の先生
方のご理解ご協力のお蔭で、
公益法人制度改革という押
し寄せる荒波から当会の財
産の損失を最小限度に抑え
られました。

また、今年六月に予定され
ている総会では一般社団法人
移行後初めての執行部の任
期満了に伴う選挙が行われ
ます。従来の会長、監事選挙
とは異なり、新定款に則り、
理事、監事選挙が行われます
ので宜しく願います。

また、昨年は新法人に於け
る公益事業の一環として会員
以外にも聴講できるオープン

形式にしている学術講演会と
して、東京医科歯科大学臨床
研修医指導医の内山茂先生
に「PMT、SPT、口腔ケア
力のコントロール最新情報」と
題して御講演戴き、受講者は
二百名を超え、好評のうちに
終了しました。

今年度は日歯生涯研修セミ
ナーの今年度講師の木ノ本喜
史先生に「高い成功率が期待
できる最新の歯根端切除術」
の演題で日歯セミナーよりさ
らにグレードアップした内容
で三月五日(木)に講演戴く
予定です。この貴重な機会に、
会員の皆様お誘い合わせの上、
奮って参加ください。

地域医療では今年度より
八〇二〇運動推進特別事業
として、大学・短大・専修学校
における保健担当者を「歯
と口の健康サポーター」とし
て養成する事業を開始しま
す。これは学校保健安全法
に基づく歯科健診が実施さ
れている高校卒業後から歯
周疾患検診対象年齢である
四十歳までの間、歯科保健指
導を受ける機会が少ないこ
とによりです。また、認知症
患者の口腔衛生管理の向上
と口腔機能の維持・回復を図
ることを目的として認知症
対応施設歯科口腔保健推進
事業も開始致します。

に於いては、歯科衛生士会と
歯科技工士会にご協力いた
だき、フッ素塗布や義歯洗浄な
どが区民に徐々に浸透し、来
場者数を更に増やしました。

医療管理では、読売新聞に
よる「歯科医院の院内感染懸
念」報道を受け、「院内感染
防止策」について、兵庫県立柏
原病院の連利隆先生に「昨年
に引き続き」講演戴き、会員
の院内感染防止に対する意
識を高めて戴きました。

まだまだ厳しい状況に置か
れている歯科界ですが、今後
も当会の伝統である「和を以
つて導しと為す」の精神をモツ
トに、会員相互が団結して
協力し合い、大阪府歯科医師
会のご指導を仰ぎながら、会
務運営に参りたいと存じま
す。

今後とも行政や医師会、薬
剤師会、更には関係諸団体と
もこれまで以上に連携を密に
して地域医療発展のため全
力を尽くす覚悟であります。

今年も執行部「丸」となつて、
意欲と情熱をもつて会務に携
わっていく所存ですので、どう
か本年も旧に倍するご指導ご
鞭撻とお力添えを戴きます
ようお願い申し上げます。

最後に、会員の先生方にと
つて今年が素晴らしい年にな
りますよう心から祈念致し
まして念頭の挨拶とさせていただきます。

パノラマ

新年明けまして
おめでとうござい
ます。皆様におか
れましては、健やか
に新春を迎えられ
たこととお慶び申
上げます。旧年
中は「ほくし」の制
作にあたり、ご理解、ご協力
をいただき厚く御礼申し上
げます。昨年は、ソチ五輪、
STAP細胞、消費税八%、
危険ドラッグ、テニスの錦織選
手の活躍などさまざまな出
来事がありました。日本経
済はアベノミクス効果により
少し良くなったかに思われま
したが、庶民はあまりその恩
恵を与えず、われわれ歯科医
もその例外ではありません。
先送りにはなりましたがさ
らなる消費増税を控え、先
行き不透明な経済状況がま
だまだ続きそうです。しかし
ながら消費増税分は社会保
障に利用されるとのことなの
で、少しでも多くの国民が必
要な医療や福祉、介護を受
けることができる社会になる
よう切に願います。今年の干
支は未(ひつじ)です。群れて
生きる姿から和・平和の象徴
とも言われているそうです。
私たちが和のころを大切に
したいものです。本年が皆様
にとって幸多き年となります
ように。本年もどうぞよろし
くお願い致します。(E)

年頭所感

大阪府歯科医師会
会長 太田 謙司



謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、本年が会員の皆様、ご家族にとりまして実り多く、幸多き年となりますことを、心からお祈り申し上げます。

現在、私は二期目の府歯会長職を務めておりますが、その二期目も早一年九ヶ月余を経過する中、大阪府歯科医師会は昨年四月一日無事一般社団法人に移行し、新しい歴史を歩み始めております。移行に際しては諸委員会の方々をはじめ、多数の会員のご協力とご理解を得たことに衷心より感謝申し上げます。

また、昨年六月一日には夜間緊急歯科診療が一〇年と言う大きな節目を迎え、十一月には第三五回全国歯科保健大会という大きな事業を盛会裡に終えることができました。長い準備期間を経て行われた大会でしたが、当日は一、二〇〇名を

越える参加者を得て大きな盛り上がりを見せました。これも会員、医療・介護関係者、そして一般府民の方々のご協力の賜物であると考えます。超高齢社会が問題となり、在宅での医療や介護が進められる現今、在宅を含む今後の歯科保健の重要性を、大阪の地から全国に発信できたことは誠に大きな成果であると考えます。

歯科医療をめぐる情勢は未だ厳しいものがあり、難問が山積している状況に大きな変化はありません。昨年十一月に安倍首相は消費税一〇％への引き上げを一年半延期するとともに衆議院を解散し、十二月一日日に総選挙が行われました。いずれにしても二七年度での消費増税は行われませんが、経済状況そして庶民の暮らしという面から見ると、増税が先送りされたことに安堵感が漂う一方、社会保障制度の充実に当てられるべき財源が一部なくなつたことを考えると、今後の社会保障制度の縮小、とりわけ医療への影響が懸念されます。国の医療費抑制策はじわじわと浸透してきてお

り、現下の経済状況では歯科への受診はさらに抑制されるのが危惧され、平成二八年に予定されている次期診療報酬改定も厳しいものが予想されます。しかし、厳寒の中でも、我々歯科医師会は専門の職能団体として、歯科医学の研鑽に励み、歯科医療を国民のために発展させていかなければなりません。大阪府歯科医師会も全力を尽くす覚悟でありますので何卒よろしくお願いいたします。

さて、このたび私は皆様方の熱い思い、ご支持をいただき、日本歯科医師会会長予備選挙に立候補いたしました。当選の暁には全身全霊を捧げて日歯の会務を遂行する覚悟とともに、役員諸氏、会員諸氏のお力添えをいただき、引き続き大阪府歯の会務にも全力を投入して参ります。役員、府歯会員が心を一にすれば、あらゆる困難は必ずや克服できるものと考えております。どうか本年も旧年に増してご指導ご鞭撻、そしてご協力をいただくことをお願い申し上げます。



新年のご挨拶

大阪市
北区長 古屋 和彦



新年明けましておめでとうございます。皆様方には、平素より市政・区政の各般にわたり、格段のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年四月の就任以来、「区民の皆様方の満足度・幸福度が高く、最も魅力的なまち」の実現を一つの目標に掲げ、区政運営に取り組んで参りました。

健康増進施策に関しましては、生涯を通じて心身ともにすこやかであることは、幸せな暮らしの原点であり、その実現には、市民の主体的な健康づくりのための取

り組みが重要となります。口腔の健康につきましては、歯周病が心臓疾患や脳血管疾患など深刻な全身疾患に影響を及ぼすことが知られており、歯周病を予防することが全身の生活習慣病を予防することにもつながります。

大阪市においては平成二五年度から五か年計画で大阪市の第二次健康増進計画「すこやか大阪21(第二次)」を策定していますが、ライフステージに応じた生活習慣及び社会環境の改善を目指す六分野のうちのひとつとして「歯・口腔の健康」を位置付け、歯科医師会のご協力のもと歯科健康相談事業、歯周病疾患健診事業及び乳幼児歯科健診事業などの取り組みを行なっております。

当区におきましては、これらの事業に加えて妊婦歯科健診や「北区みんなの健康まつり」における普及啓発など多くの歯科保健事業を実施するにあたり、大阪北区歯科医師会会員の先生方のご協力のおかげで円滑に事業を行うことができ、区民の健康保持と疾病予防



を効果的に推進できるものと改めて感謝申し上げます。また、昨年は大阪北区歯科医師会が一般社団法人に移行され、組織運営の変更などにご苦労がおりかと存じますが、地域歯科医療の推進と地域住民の健康などに、これまでにも増して大きく貢献されていることに、心から敬意を表するとともに更なるご活躍をご期待申し上げます。

今後も、より魅力的な北区となるよう、職員一丸となつて全力を尽くして参りますので、引き続き皆様のご理解と一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、大阪北区歯科医師会のみならずのご発展と皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

大阪市北区保健福祉センター
医療主幹 澤田 好伴



新年明けましておめでとうございます。大阪北区歯科医師会の皆様方におかれましては、清々しい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。平素は北区保健福祉センターの保健衛生事業や、区民の歯科衛生の向上のために多大なご協力を頂き誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。今年も引き続き、変わらぬ支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

さて、近年、口腔内への関心、とりわけ歯周病に対する関心が非常に高まっております。歯周病は、誤嚥性肺炎、心疾患、糖尿病などの全身の疾患との関係が深く、また、歯をなくす最大の原因でもあります。約三〇年前に八〇二〇運動、すなわち、「八〇歳になっても自分の歯を二〇本以上保とうという運動」が始ま

った頃は、八〇歳以上で歯が二〇本以上残っている方の割合は一〇%以下だったようですが、どんどん良くなり、最近の統計では四〇%に迫る勢いで、東京のある自治体では五〇%を越えるところも出てまいりました。昔は年をとるにつれて歯がなくなっていくのは老化現象と思われていた面がありました。最近、歯周病の予防、治療を行えば、かなり食い止められることがわかってまいりました。生涯にわたり自分の歯を二〇本以上保つことにより、健全な咀嚼能力を維持し、健やかで楽しい生活を過ごすことができますと言われているので、これは画期的なことと思います。これも、ひとえに歯科医師の皆様方の啓蒙活動、歯周病予防の成果と、敬意を表する次第です。

最後になりましたが、高麗会長をはじめとして大阪北区歯科医師会がますますご発展されますように、また、会員の皆様のご多幸、ご健勝を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

未年年男・年女

昭和 6年

18年

30年

42年

54年



還暦を迎えて

7班 大塚 俊裕
(昭和30年12月8日生)



新年あけましておめでとうございます。会員の先生方にはお健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。おかげさまで、五回目の年男、還暦を迎える年になりました。

平成九年、「大阪北区歯科医師会・第一期黒川執行部」のもと、初めての理事就任以来、「高麗執行部三期」まで十八年間の長きにわたり、役員を務めさせて頂いております。その間、諸先輩方からさまざまな事を多くを学ぶことができましたことに、深く感謝いたしております。

今でこそ六十歳はまだまだ若くて長寿という感じがしませんが、還暦祝いとは

六十歳を迎えたことを喜び、長寿を祝う行事でした。

人生八十年となり、六十歳は人生ドラマの最終章の幕開けと申せましょう。その意味からも、公私ともに悔いの残らないものにしたものです。

会員の皆様のご活躍とご健康をお祈りいたしますとともに、今後とも、ご指導の程、よろしくお願いいたします。

四回目の年男

15班 樋口 春彦
(昭和42年5月19日生)



あけましておめでとうございます。毎年不精と多忙にかまけて自分の歳が四〇何歳だったかわからないくらい変わり映えない正月をおくっているここ数年ですが、今年はこの原稿を

依頼されたおかげで四八歳になることがはつきりと分かります。前回(三六歳)のときは「もうオッサンです」とか周囲に言いながらまだ若いつもりでしたが、もう間違いなく立派なオッサンです。次回は還暦。人生の折り返し地点もつくに過ぎてました。ペース配分を考えて生きていかなければならないと今頃気づきました。患者さんとスタッフと家族に感謝しながらぼちぼち頑張りたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

年男に臨んで

5班 市末 正博
(昭和42年10月29日生)



明けましておめでとうございます。早いもので今年には四回目の年男を迎えます。時間が過ぎていく早さを痛感しています。人生においても歯科医人生においても後半を迎えています。自分の気持ち的には学生のとときのままなのですが、運動不足による腰痛や経営的な心

配事を抱えながら日々診療させていたいております。開業して一五年まだまだ道半ばという感じです。

四八歳は経験的にも体力的にも歯科医としていい時期だと思っています。やりたいことを先延ばしにせず、改めてチャレンジしていきたいと思っています。歯科界を取り巻く情勢は決定的とはいえないませんが、今自分たちが頑張ることで、子供たちが頑張る職業でありたいと思います。気負わず自分の目の前に与えられた役割を誠実に全うしていきます。過去を悔やまず、未来を不安視せず「今を生きる」を意識して年男を満喫していきます。

年男

9班 芦澤 亮治
(昭和42年1月28日生)



新年あけましておめでとうございます。今年で4度目の年男を迎えました。単純に考えても人生の半分は通過。これからの仕事に遊びに一生懸命がんばりたいと思います。

二〇一五年 新年互礼会開催

ヒルトン大阪
四階・真珠の間

H27.1.10

HP



一月一〇日(土)、ヒルトン大阪四階真珠の間において、二〇一五年度新年互礼会が、関係官公署および団体代表、議員の来賓を招き、六三名が出席し開催された。佐々木裕専務理事が司会を務め、野口秀夫副会長の開会のことばで始まった。高麗誠紀会長が新年の賀詞と参会への謝辞をのべた。続いて古屋和彦大阪市

北区長、岡本学大阪府歯科医師会副会長にご挨拶をいただいた。
西本雅英総務常務理事による来賓各位の紹介の後、本出席大阪北区医師会副会長、中山泰秀衆議院議員、吉村洋文衆議院議員、小玉隆子大阪市議員に祝辞をいただき、荒起秀多北区薬剤師会会長の音頭で乾杯して懇親会に移った。

昨今の厳しい社会情勢が続く中であるが、多くの会員が来賓や会員相互と和やかに交流し楽しく時が流れていた。木下秀人副会長の閉会のことばでお開きとなった。尚、来賓各位は次の通りであった。

(順不同敬称略)

古屋和彦(大阪市北区長)
岡本学(府歯副会長) 河村達也(府歯理事) 城村幸治(府歯連盟理事長) 黒川森夫(府歯連盟監事) 河島保孝(府歯国保組合専務理事) 橋本收(府歯国保組合監事) 中島孝(大阪市北消防署長)



本出席(大阪市北区医師会副会長) 尾辻淳(北九大淀歯科医師会会長) 荒起秀多(北区北葉薬剤師会会長) 中山泰秀(衆議院議員) 吉村洋文(衆議院議員) 久谷眞敬(大阪府議会議員) 小玉隆子(大阪市議会議員) 美延映夫(大阪市議会議員) 小谷和弘(大阪府歯科技工士会副会長) 久家恵(大

大阪市生涯歯科保健推進事業

H26.12.11

HP



平成二六年十二月十一日(木) 午前九時より、大阪市立堀川幼稚園において、口腔衛生指導を行いました。本事業は生涯を通じた歯の健康づくりの出発点となる

大阪府歯科技工士会中央北支部長) 丸山直美(大阪府歯科衛生士会会長) 泉井英子(大阪府歯科衛生士会大阪北支部長)



幼児期から口腔保健に関する知識を普及啓発するため大阪市の委託事業として行われ、北区では今年度は堀川幼稚園を選びました。最初に樋口春彦理事の挨拶、続いて永井るみこ先生による園児に向けたパネルシアターと講和、地域医療部員と歯科衛生士による染め出しによるブラッシング指導、保護者向け仕上げ磨きの実地指導、谷口浩康部員による保護者向け講和「むし歯予防」、最後に希望者全員に歯科衛生士によるフッ素塗布と盛りだくさんの内容でした。事後のアンケートでもほとんどの保護者からまた参加したいとの記入をいただき、園児ともども喜んでいただきました。(担当理事・樋口春彦記)

新入会員

4班・石田 憲嗣
(大歯大・平成十四年卒)



(診) 石田 歯科
北区天満三十三
二〇ハイツ天満橋二階
電 六三五五二五〇〇
F 六三五七五一五八
9班・前田憲一郎
(徳島大平成十三年卒)



(診) 医療法人社団皓歯会
北区角田町八一四七
阪急グランドビル
二十二階
電 六三一五七五〇〇
F 六三一五一九三〇

編集後記

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。(広報部同)